

2020年7月8日

長崎県知事 中村 法道様

石木ダム建設に反対するみんなの会

呼び掛け人 中島康, 茂吉隆典, 山本伸裕, 土森武友

連絡先 869-0222 熊本県玉名市岱明町野口 927 土森方

TEL:080-3999-9928 FAX:020-4668-3744

「私物」撤去要求に抗議し石木ダム建設中止を求める申し入れ書及び
公開質問状

私たちは、無駄な石木ダム建設事業を中止させる目的で、ダム反対のうねりを全国に広めるために設立された市民団体です。石木ダム問題は、もはや長崎県だけの問題ではありません。石木ダム事業は補助ダムであり、国からの補助金が支出されること、またダムができれば不可逆的に地域コミュニティと自然環境を破壊するということ、事業の必要性や合意形成プロセスに問題があること、適正な公共事業の在り方や人権問題として大いに疑問があること、ダムで沈むとされる川棚町川原地区の豊かな自然や暮らしの価値は、この地域だけでなく、普遍的な人類の財産であることなどに鑑みれば、日本に住む人間一人一人にとって大きな問題です。

石木ダムの目的は失われています。目的の一つである川棚川の洪水防止については、堤防強化などの河川改修をすれば、過去最大の洪水も溢れずに流せます。もう一つの目的である佐世保市への水道水の供給も、水需要は減少しており、新たにダムの水を使う必要はありません。佐世保市の喫緊の課題は漏水対策であって、ダムからの水の供給ではありません。

このような無駄なダム建設に長崎県は総事業費 538 億円（関連事業費含む）もの税金を投入し、自然を破壊し、水没予定地住民の生活を奪い、私たちに負の遺産を押し付けようとしています。

現在、長崎県が進める付け替え道路工事現場において、抗議の座り込みを続ける住民や支援者らに対して、長崎県は盛土工事を進めるため、休憩用のベンチやテーブル、倉庫など「私物」の撤去を求めています。この盛土工事が実施されれば、座り込み行動が出来なくなってしまいます。住民の正当な抗議の意思表示の場さえ奪おうとする長崎県の暴挙を許すわけにいきません。

私たちは、この暴挙に強く抗議するとともに、貴職が住民の意思を尊重し、世論の高まりを直視してダム建設を中止し、地域住民や関係自治体と共に、あるべき未来を探り、残された課題解決に力を注がれますよう、申し入れます。

また、下記質問に回答されますようお願いいたします。回答希望納期は7月17日です。当会連絡先に、郵送またはFAXで送付してください。いただきました回答は、報道機関に送付し、インターネットを通じて広く公開いたします。

記

質問項目：

1. 石木ダムの目的の一つである佐世保市への水道水の供給について、佐世保市の水需要は減少しているのに、なぜ石木ダムの水を使おうとするのか。
2. 石木ダムの目的の一つである川棚川の洪水防止について、川棚川水系における石木川の集水面積は11%程度でしかない。川棚川と石木川の合流地点より上流の本川が圧倒的に長いが、仮にダムの治水面の効果があったとしても、合流地点より上流部分にはその効果は全く及ばない。これは治水のあり方としておかしい。石木ダムは川棚川の洪水対策に本当に役立つのか。
3. 川棚川河口の川棚港周辺の下百津・平島地区では、堤防整備など必要な水害対策が実施されていない。やるべきことをやらずに、何故ダムを優先するのか。
4. 川棚町のハザードマップを見ると、中組郷地区など浸水が想定されている。ダム建設より堤防かさ上げや河床掘削などの河川改修を優先して実施し、これらの地区の浸水を防ぐべきではないのか。

以上